

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09040200

政策目標	4	つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	15	環境の保全	事業優先度	A		
単位施策	5	エネルギーの有効利用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	新エネルギー普及促進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成27年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	11 町有施設整備室		
事業指標	地球温暖化防止対策の促進			4 住民生活課		
事業目標	地球温暖化防止対策の調査		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加	無		関係例規・法令名			
住民協働	無		関係個別計画名			

555	全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	住宅用太陽光発電システム設置に対し、補助を行い地球温暖化対策の促進を図るための調査検討を行う。	調査検討	調査検討	調査検討		
計 画 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0	0			
実 績 事 業 費	事業費(千円)	0	0	0	0	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	0	0			
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等) 調査検討	(実施内容等) 調査検討	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	※事務事業評価結果 C-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値 調査検討	年度目標値 調査検討	年度目標値 調査検討		
	第6期計画への継続 (継続無し)	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!	年度達成率 #DIV/0!
		全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!	全体達成率 #DIV/0!
	事業進捗状況	☆	☆☆☆☆			

事業名	新エネルギー普及促進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	商工観光係長	河原 学

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	地域住民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	調査検討								
【抱える課題やニーズは】	地球温暖化、恒常的な電力不足の解消	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	太陽光を利用した自家発電の普及	① 調査検討	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1件</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>0件</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>0.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値	1件	実績値	0件	達成度	0.0%
目標年度	平成26年度										
目標値	1件										
実績値	0件										
達成度	0.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	環境に配慮(CO2削減、地球温暖化防止)できるとともに、新エネルギー普及による電力不足の解消が図られる。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成26年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	平成26年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	平成26年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	所管係における調査	国、北海道、他市町村における補助金制度の概要を調査、北電等への売電の可否についても調査。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	国や他市町村においても同様の補助制度が創設されているが、現状においては普及率は低い状態にある。このような状況を踏まえ、関係課と協議のうえ、雄武町における制度創設の可否について調査検討する必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

課題あり	設定した目標値の達成状況	各関係機関や道内市町村の現状調査及び売電の可否についても関係機関へ照会等を行ったが、関係課での協議を実施しておらず、制度創設の検討に至っていないことから、課題ありと判断する。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input checked="" type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	ゼロ事業であり、調査自体の事業費抑制については効率的であったが、部内協議及び検討に至っていない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	雄武町に居住する全住民に対する施策の検討であり、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	B	
	各関係機関等の情報を収集し調査を行ったところであるが、関係課による部内協議等を開催していない。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/現状維持	
	調査検討を完了したことから、制度創設の可否について関係課等と協議を行い、27年度中に方向性を決定する。	

- ※展開方向の区分
継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了 休止 廃止